

嘉麻市社協だより

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

<https://www.facebook.com/kama.swc>

発行日/2015.6.1

えがお

No.112

外で食べる
お弁当はサイコー!

下山田小学校
歓迎遠足



嘉麻市社会福祉協議会は、今年度で法人設立10周年を迎えます。この記念事業として、支えあいのまちづくりサポーター養成講座を全10回のカリキュラムで開催しています。

第1回目は、4月24日に、熊本県健康福祉部健康福祉政策課福祉のまちづくり室地域福祉班の平嶋伸幸さんを招いて、社会福祉法人の地域貢献活動について学びました。

現在、国会審議中の社会福祉法改正案では、地域への公益的な活動が社会福祉法人の責務として明記されるなど、地域への困りごとの解決に向けて、積極的なかわりが求められています。

今回は平嶋さんに、この活動が必要とされている背景や熊本県での取り組みについて、話を伺いました。



熊本県健康福祉部
健康福祉政策課
福祉のまちづくり室地域福祉班
主任主事

平嶋 伸幸 氏

なぜ社会福祉法人に地域貢献活動が求められているのですか？

社会環境が変化する中で、福祉ニーズが多様化すると同時に複雑になってきています。そのため、これまでであった社会福祉事業や制度では対応できない方々に対する支援の必要性が高まってきています。

本来、社会福祉法人は社会福祉事業の実施を主な目的とする法人であって、財政上の優遇も受けています。そのため、いわゆる余剰財産がある場合には地域の困りごとに応じて、新たな事業の立ち上げや拡充に用いたり、地域の中の公益的な取り組みに活用することが求められているのです。

熊本県ではどのような取り組みをされているのですか？

熊本県では、平成24年度に県内577の社会福祉法人を対象に地域貢献活動の取り組み状況を把握する調査を行いました。その結



果、およそ83%の法人がすでに取り組んでいること、これから更に取り組みたいという法人も同じくらいあることがわかりました。そこで、社会福祉法人の地域貢献活動事例集を作成し、県内の社会福祉法人等に配布し、また、研修会を開催するなどして、様々な貢献活動を働きかけてきました。

駐車場やホールなどの一部を地域住民に開放して、交流の場として提供しているところもあります。また、子ども、高齢者、障がい者など誰もが気軽に集うことができる「地域の縁がわ」に取り組む施設も多くあります。

社会福祉法人にとってのメリットはどのようなところでですか？
また活動を行う上でのポイントを教えてください。

地域貢献活動に取り組んでいる法人からは、「施設への理解が進んだことで、地域住民の協力を得やすくなった」、「地域住民との交流が増えて、職員教育の機会にもなっている」、「交流によって、施設入居者の生きがいづくりにもつながっている」といった話が聞かれています。また、地域住民の方にとっても、「相談できる場所ができた」、「いずればお世話になりたい」などの声も聞かれ、社会福祉施設がより身近なものになっていくようです。

多くの社会福祉法人では、地域のニーズに応じた様々な取り組みをされていると思いますが、あまり地域に知られていないという現状があります。地域へしっかりとPRして、地域住民と一緒に取り組んでいくことが必要だと思えます。

かまひきこもり相談支援センターをご利用ください

4月から開設しているかまひきこもり相談支援センターについて、紹介します。

どんなことをしているの？

2名の相談員を配置し、ご本人やご家族などからの相談を受け付けています。「外に出ていく気持ちになれない」「自分のことをわかってもらえない」「子どものことが心配」など、今感じてある思いをお話ください。電話やメールで相談を受け付けていて、ご自宅への訪問も可能です。

フリースペースって何？

様々な事情で外に出かけることが難しい方たちが自由に過ごせる居場所で、毎週木曜日に開設しています。ビリヤードやトランプで遊んだり、お茶を飲みながら話をしたりして、思い思いに過ごしています。

親の会って何をしているの？

平成26年4月にひきこもり家族会「つながり」が立ちあがりました。家族のひきこもりや不登校について、抱えている悩みを話し合ったり、相談をしたりしています。また、毎週第4木曜日には、寄ってこハウスで家族の集いや勉強会を開いています。

お問い合わせ先 **TEL 0948-42-0751**
E-mail : tiiki@kama.syakyo.com



嘉麻市社協 の ブログ

本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いで、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。ぜひご覧下さい。 <http://kamasyakyo.chobi.net/worldpress/>

2015年 4月25日(土)

今日は、博多・覚永寺で開催された「水俣・福岡のつどい2015」に参加し、お二人の講師の方の話を伺いました。

最初に、胎児性水俣病患者の加賀田清子さんの講演がありました。幼少から過ごされた施設での生活を写真や映像で振り返り、家族と過ごしたい、病気が治りたいと思っていたことを話されました。また、「不知火海」という映画のワンシーンが映し出され、加賀田さんが「今から先のこと、何を考えていいかわからん」と原田正純医師に話されていました。加賀田さんの一言一言に重みがあり、私たちにたくさんのことを問いかけていることを感じました。

次の講演は、水俣病患者の方たちがチッソ東京本社で直接交渉をしようと座り込みをされていた時から医師として関わられていた山田真さんからでした。

東日本大震災以降は、福島に通われていて、医学の現場から感じておられる社会の違和感についてお話がありました。現在の福島は水俣と同じ経験をされていて、様々な差別を受けていること、事実を隠すことで同じ過ちが繰り返されていることを知りました。

この集いで、貴重なお話を伺うことができ、水俣から学ぶことがたくさんあることを改めて感じました。今年度は、10周年記念事業として、秋頃に水俣病を学ぶ講座を企画しています。市民のみならずと一緒にしっかり勉強したいと思いました。(^ 0 ^)

2015年 5月11日(月)

今日は、大刀洗町高樋地区でサロン活動などをされている11名の方が、山野第一行政区高齢者支援ふれあいネットワーク委員会の取り組みの視察に来られました。

初めに、ネットワーク委員会委員長の永富健二さんが、委員会で取り組んでいる見守り活動やふれあいいきサロンの状況などについて説明されました。その後、お互いの活動に関する意見交換を行いました。

その中では、サロンに参加できない方や見守り等の関わりを拒む方への対応、見守りの際の個人情報取り扱いなど活動の中で課題となっていることをお互いに出し合い、予定していた時間を大きく超えてしまうほど、白熱しました。

参加された山野第一ネットワーク委員会の委員の方は、「他の地区の話も聞いてみないとわからないところもたくさんあるので、とてもためになった。良いなと思う部分を活動に取り入れて、お互いに発展していけばいいですね」と話されていました。



イベントを通して新たなつながりづくり

平成26年3月で廃校となった千手小学校で、6月から3か月間、日本とオランダの芸術家による滞在型のアートイベントが開催されます。7名の芸術家が、各教室をアトリエ、宿泊場所として使用して、来場者と交流を図りながら、千手地区や小学校にちなんだ作品づくりを進めていくものです。

ワインセントさんとクララさんは、以前滞在したことのあった嘉麻市の自然に魅了され、この土地で地元に着したイベントをして、つながりを深めていきたいと、昨年の10月から少しずつ準備を進めてきました。

まず、地域の行事にも積極的に参加して、顔と名前、そして思いを知ってもらうところから始めました。そうした活動によって、通訳をしてくださる方、宿泊場所や食事を提供してくださる方、芸術家の皆さんが寝泊りするのための畳や木材を提供してくださる方など徐々に協力者は増えていきました。

ワインセントさんは、「たくさんの方の協力のおかげで、なんとか準備をすすめてくることができました。」とこれまでを振り返り



教室の片づけをすすめるワインセントさんとクララさん

ました。また、協力されている溝口義智よしもとさんは、「彼らは嘉麻市のためにという思いを持って、活動してくれている。みんな協力して、もっと良いイベントにしていきたい。」と期待を込めます。

ワインセントさんは「たくさんの方と一緒に作品を作り上げたい。いろいろな形の作品になるかはわからないけれど、その過程を大切にしたい。」と笑顔で話していました。

電動車いすを

譲ってください

福岡県立嘉穂特別支援学校では、常時車いすを使用しながら学習している児童生徒が多数います。

子どもたちは、先生と協力しながら体を動かしたり、移動したりすることが大好きです。そのため、同校では体育や自立活動の時間に、自分でジョイスティックを操作して、自由に動くことができる電動車いすを使った学習を取り入れてみたいと考えています。もし、ご自宅にご使用になっていない電動車いすがありましたら、嘉麻市社会福祉協議会までご連絡ください。よろしくお願いたします。



ジョイスティック

ジョイスティックがついている電動車いす

お問い合わせ

嘉麻市社会福祉協議会
TEL 0948-42-0751

在宅介護者 リフレッシュ事業のご案内

在宅で介護をされている方のリフレッシュを目的に、下記の内容で日帰り旅行を計画しています。

今回は、博物館の見学や昼食だけでなく、介護用品について学ぶことができる時間も設けていますので、ぜひご参加ください。

記

- **日時**
平成27年7月9日(木) 9:45~15:15
- **参加対象者**
市内在住で、現在在宅で介護をされている方
【定員15名】
- **行き先**
・春日市クローバープラザ内福祉用具展示室
・九州国立博物館
- **参加費** 1,000円
- **申し込み締め切り日**
平成27年6月30日(火)



成年後見制度 Q&A

Q 後見人の候補者がいない場合でも申立はできますか？

A 候補者にふさわしい親族がいない場合や依頼できる専門家がない場合には、候補者欄を空欄で申立することは可能です。裁判所は個々のケースに応じて、司法書士、弁護士、社会福祉法人などの第三者後見人を選任します。



法人設立10周年 記念事業のご案内



～支えあいのまちづくりサポーター講座～ 第4回・第5回

この講座は、「孤から個へ 個から地域へ」をテーマに、様々な問題を少数者の側から提起し、課題を共有しながら学ぶことを目的に開催しています。

第4回・第5回は、下記のとおりとなっていますので、ぜひご参加ください。

記

第4回

日時 7月31日(金) 13:30~15:30
場所 夢サイトかほ
講師 詩人 アーサー・ビナード氏
内容 講演「夏の線引き」

今年は、1945年8月15日の戦争終結から、70年の節目を迎えます。そこで、第4回目の講座では、平和の大切さについて一緒に考えたいと思います。

講師には、アメリカに生まれ育ち、広島文化賞を受賞した詩人 アーサー・ビナード氏をお迎えし、70年前の夏と今年の夏をつなげ、歴史のカレンダーを新たに読み解きます。「ナガサキ」と「ニューメキシコ」と「ヒロシマ」と「ワシントン」と「コクラ」も巡る旅です。

第5回

日時 8月3日(月) 9:00集合 17:00解散
内容 フィールドワーク

国立療養所菊池恵楓園(熊本県合志市)に行き、施設見学。その後入所者の方にお話を伺います。

参加費 1,000円(バス代)
参加対象 第2回講座受講者及びハンセン病についての事前学習をされた方
その他 昼食は各自の負担となります

問い合わせ 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

第1回まちづくりサポーター講座のテーマは何でしょうか。

- (1) 社会福祉法人の地域貢献活動
- (2) 社会福祉法人の環境貢献活動
- (3) 社会福祉法人の国際貢献活動

● 応募方法 ①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、6月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

● 送付先 〒820-0205

嘉麻市岩崎1-43番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: riki@kanna-syakyo.com

● 前号のクイズの答え (1)

法人設立10周年の記念事業として開くのは、支えあいのまちづくりサポーター養成講座でした。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

いつも心あたたまる内容に感謝しています。次号も楽しみです。
編集後記が楽しみです。「えがお」をつくりあげてくださる方を少し理解できます。

※応募者の発表を発送をもって代えさせていただきます。

ボランティアさんに聞きました



高橋直樹さん

高橋さんは、昨年8月に広島県で発生した豪雨災害の際に、現地で土砂の撤去などのボランティア活動に参加され、本会から派遣した職員も共に活動しました。

今年の4月、岩手県に移り住んで、東日本大震災の復興支援ボランティアとして活動することにした高橋さんは情報を得るために、広島でのつながりで、わざわざ愛媛県からかまボランティア・市民活動センターまでお越しいただきました。

そこで今号では、高橋さんに被災地での復興支援活動への思いを伺いました。

Q1 被災地でのボランティア活動を始めたきっかけについてお聞かせください。

東日本大震災が発生した日、広島県福山市の製鉄所で特殊車両の操作をしていました。津波警報が出て、詰所で待機するようにならわれ、そこで被害の状況をテレビで見ました。その時は、大変なことがおきていると愕然としたことを今でも憶えています。

以前は自衛官をしていたこともあり、何かできないかとずっと思っていました。今さら自分にできることがあるのかとも思いましたが、やっぱり何か役に立ちたいという思いが消えず、岩手県釜石市に移住することを決めました。

Q2 現在、どのような活動をされているのですか？

釜石市に来てからまだ日が浅く、数えるほどしか活動はしていませんが、仕事が休みの日曜日に、空き家となった仮設住宅の掃除や被災者の憩いの場となる畑づくりに参加しました。

Q3 これからの目標や活動への思いをお聞かせください。

復興にはまだまだ時間がかかると思います。一人ではできないことをボランティアの力を集結して、いろんな意見を出し合って、効率の良い作業方法を考えながら活動していきたいと思っています。

ボランティア募集情報

織田廣喜美術館では、

①子どもたちの創作活動をサポートしていただけるボランティア、②「子どものための昆虫展」のワークショップでのボランティアを募集しています。

①子どもたちの創作活動のサポート

日時 6月6日、6月27日、7月4日、9月5日、10月31日、11月28日、12月5日、1月9日、2月6日
10時～12時(全て土曜日の開催です)
※ご都合のよい日だけで構いません

内容 子どもの絵画工作教室内の講師や子どもたちの創作活動の補助

備考 動きやすく汚れても良い服装でお越しください

②「子どものための昆虫展」ワークショップのサポート

日時 8月4日(火)、8月9日(日)、8月23日(日)
9時～16時(日にちにより異なります)
※ご都合の良い日だけで構いません

内容 昆虫採集、標本制作など児童の作業のサポート、安全管理

備考 動きやすい服装でお越しください
水、タオル、帽子等をご準備ください



詩人 桜井哲夫との歳月 しがまっこ溶けた



著者 金 正美
出版社: 日本放送出版協会

この本は、著者の金正美さんが、詩人である桜井哲夫さんと出会い、共に歩まれたことについて書かれていきます。

題名の「しがまっこ」とは津軽弁で「氷」のことだそうです。らい予防法廃止を受けて桜井さんが作られた「しがまっこ溶けぬ」という詩には、法律が廃止になっても故郷にも帰れなかった思いが込められています。金さんと一緒に故郷に帰り、心に張りついていた「しがまっこ」も溶け始め、このタイトルに決まったそうです。

金さんは、大学の掲示板で「らい療養所の詩話会がある」という情報を見てなんとなく興味を持ち、国立八ッセン病療養所栗生楽泉園に行ってみたのですが、そこで、「差別」や「強制隔離」といった現実を目の当たりにし、大きなショックを受けます。そして、桜井さんからいろんな話を聞いて真剣に向き合い、一緒にこの問題に立ち向かわれます。

本の中には、桜井さんの作品がいくつも紹介されています。一つひとつの言葉の中にたくさんの深い意味が込められていると感じ、何度も読み返しました。こうしていろんな人に出会えたんだから「らいになってよかった」と言われる桜井さんに、金さんと同じように人間の強さや優しさを感じ、心を奪われました。

全国療養所で暮らす方々は、約1,700人にまで減ってきて、高齢化も進んでいます。この問題は終わっていくのではなく、今だからこそ真剣に学び、考え、忘れられることがないように伝えていかなければならないのだと思います。(みぞくち)

炭鉱の記憶 No. 99

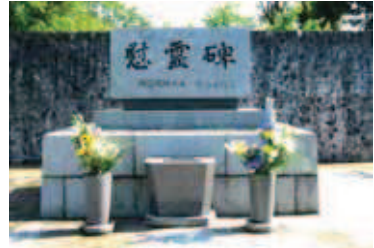
山野炭鉱ガス爆発事故から、今年で50年が経ちます。昭和40年6月1日12時40分頃、第一堅坑でガス爆発が起こり、坑内にいた522名のうち237名もの尊い命が瞬間にして奪われ、29名が重軽傷を負いました。

稲築町制40周年記念運動広場には、事故で殉職された方々を慰めるために建てられた慰霊碑があります。5月19日(火)、事前学習をされた稲築東小学校6年生の児童のみなさんにより、清掃活動が行われました。事故のことを忘れられないように伝えていくために、20年以上続けられています。浅海泰司校長先生に話を伺うと、子ども達が命の大切さを学ぶ一番身近な出来事であり、山野炭鉱の第一堅坑は、ちよと稲築東小学校の場所に位置していたこともあり、私たちにしかできない活動だと話されました。

児童のみなさんは、枯葉を集めて掃いたり、たわしで石碑を磨いたり、一生懸命取り組み、「坑内の中のことや家族の気持ち、体験者の気持ち等を学んできたので、しっかり掃除も頑張ります」「当時の小学生は家族を亡くして辛かっただろうなと思う」等と話をしていました。

事故で伯父さんを亡くした北九州市在住の奥元三知代さんは、この活動に感謝をして、メッセージと共に毎年学校にジュースを送られています。事故から50年が経つ今年は献花用のお花も準備されました。きれいになった慰霊碑に花を供えて黙祷を捧げ、みなさんは思いを馳せられているようでした。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。
☎0948(42)0751



法人運営 INFORMATION

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり福祉サービス苦情解決第三者委員会、権利擁護支援運営委員会を開催しました。

記

第7回 福祉サービス苦情解決第三者委員会

・平成26年度 苦情受付実績報告について



第2回 権利擁護支援 運営委員会

- ・法人後見等定期監査報告について
(平成26年12月1日～平成27年2月28日)
- ・平成27年度からの権利擁護支援の体制及び支援状況について
- ・意見交換

山田ふれあいハウスで、子ども向けの書籍購入

山田ふれあいハウスでは、子どもたちの利用が年々増えています。宿題や読書をしたり、休みの時には来館者の皆さんと将棋をしたり、友達同士で遊んだりして過ごしています。

今後も更に楽しんで利用してもらうため、子ども向けの書籍を購入しましたので、ご気軽にご利用下さい。

新しく購入した本

- ・科学館
- ・13歳のハローワーク
- ・こども将棋
- ・心のふしぎ など



連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス 嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

嘉麻市
社会福祉協議会指定
葬祭場紹介

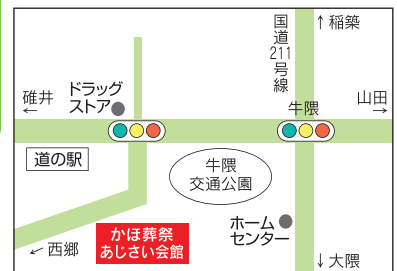
かほ葬祭 あじさい会館

嘉麻市西郷150-1 ☎ (0948) 62-5566

かほ葬祭では、もしもの時に安心の「あじさい会」会員を募集しております。会員とご家族の方には、多くの無料・割引特典がご利用いただけます。

また、事前相談・家族葬などの相談も承っております。お気軽にご来館下さい。

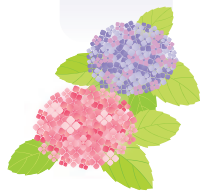
葬儀申し込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、かほ葬祭 あじさい会館を含め、市内に8ヶ所あります。

善光会館 稲築会場	☎83-5000	ひさつね会館	☎52-0758
おかむら葬祭岡村会館	☎42-4420	いすや会館	☎57-4444
飛鳥会館 南斎場	☎42-4241	セレモニーホールおおつか	☎52-1212
きど葬祭やまさ碓井斎場	☎62-4499		

みなさまの善意、心より厚く、
お礼申し上げます。



寄付

香典返し受付分

4月1日～4月30日受付分

●香典返し

〔漆生本村〕

親族 野見山 須磨子 様
 故 野見山 祐二 様
 親族 野見山 良二 様
 故 野見山 須磨子 様

〔東岩崎〕

親族 下田 政行 様
 故 下田 エキ 様

〔鴨生第一〕

親族 金丸 武一 様
 故 金丸 嘉興子 様

〔熊ヶ畑第二〕

親族 田原 廣行 様
 故 田原 ミサヲ 様

〔神幸〕

親族 伊藤 晃一 様
 故 伊藤 謙一 様

〔天神〕

親族 田中 忠 様
 故 田中 一子 様

〔猪之鼻〕

親族 世羅 正廣 様
 故 世羅 常盤 様

〔中山道上〕

親族 平野 正美 様
 故 平野 勲 様

〔中益〕

親族 畑 泰沖 様
 故 畑 大晃 様

〔上町〕

親族 金光 喜代子 様
 故 金光 芳樹 様

〔下午隈〕

親族 和多 茂美 様
 故 和多 則幸 様

〔千手〕

親族 大屋 英範 様
 故 大屋 トキハ 様

〔大力〕

親族 美林 昭廣 様
 故 美林 ユイ子 様

〔一般寄附〕

嘉穂の名水愛好者一同
 下午隈 和多 澄子 様

〔物品寄附〕

〔子育てリユース〕
 漆生中央 藤川喜美子 様
 枝坂 白土 綾乃 様
 熊本 中島 瞳 様
 牛隈北区 永末 仁美 様
 西馬見 森 由紀 様
 飯塚市 笛田 和美 様
 福智町 桑野 道恵 様

〔アルミ缶〕

漆生中央 田中茶舗 様
 漆生南部 岩田 勇治 様
 漆生南部 西田 幸子 様
 西岩崎 匿名 様
 枝坂 久家 浩史 様
 鴨生北町 矢野ささ子 様

〔使用済テレカ〕

鴨生第二 鬼塚多美子 様
 下午隈 和多 澄子 様
 鴨生第一行政区 和名 様

〔アルミ〕

古河 塚原 京子 様

〔古切手〕

鴨生第一地域福祉部 和多 澄子 様
 飯塚市 古賀ヒサ子 様
 上半隈 嘉穂洋瓦(有) 様
 鴨生第一行政区 嘉穂洋瓦(有) 様
 鴨生第一地域福祉部 教育ナビゲーション(株) 様

〔ふれあいいきいきサロン〕

鴨生第一地域福祉部 山崎 浩子 様
 飯塚市 山崎 浩子 様
 上半隈 嘉穂洋瓦(有) 様
 山野第一 嘉穂洋瓦(有) 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々に

ご加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

4月1日～4月30日受付分

〔漆生本村〕新田ミチ子、西條奈保美

〔漆生南部〕田中ちえ子

〔西岩崎〕久田篤子

〔鴨生第二〕生野信子

〔才田日吉〕本弘文

〔新山野〕山田富美枝

〔緑ヶ丘〕金川千景

〔熊ヶ畑第二〕樫 逸夫

〔百々谷〕矢野愛子

〔上町〕小林恭子

〔下午隈〕武田百合子

今月のえがお

最近えがおになった
出来事を
教えて下さい!!



一人暮らしで寂しいと思っていた
が、友人と話をしていたことをき
かけに、たまたま会った方々とも仲
良くなれて嬉しかったです。
とても素敵なお方ばかりで、時間
も忘れて話を楽しくしました。
ぜひ、また会いたいです。



こがすがこ 古賀寿賀子さん(左端)

7月の総合相談

法律相談は予約が必要です。
先着順となっておりますので、
お早めにお申し込みください。



法律相談

と き:7月2日(木) 13:00~16:00
と ころ:山田ふれあいハウス

と き:7月16日(木) 13:00~16:00
と ころ:稲築住民センター

心配ごと相談

と き:7月8日(水) 13:00~15:00
と き:7月22日(水) 13:00~15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民
センターです。

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

ふるさとへの手紙 No.112

峠をこえて



筑後市(羽犬塚) 在住
村上 孝子さん
 (旧姓 山本)
 大隈 五日町出身

筑後に来て40年、わが町、筑後の知名度がぐんと上ったのは、ホークスがやってくるようになったからです。新幹線船小屋駅の周辺は、その受け入れ準備が着々と進んでいます。どんなホークスのイケメン達がきてくれるのか楽しみです。(二軍ですが…)

私は、高校まで、大隈の五日町で過ごしました。大隈小、大隈中、山田高校…と、なつかしい思い出がいっぱいあります。でも、残念なことに、すべてがなくなってしまうました。あの頃は、筑豊炭田の最盛期で、山田市も五万人の人達でにぎわっていたのに。私はクラスの出席番号が54番で(旧姓山本です)まだ、後ろに何人が続いていました。

今、私が、ふる里に行くのは、お墓まいり。行きは、冷水峠を越えて、桂川、碓井経由で大隈へ。ひっそりと古びた街なみが、私をやさしく迎えてくれます。あちこちで、タイムスリップして、小さな私が遊んでいます。お墓掃除をして、お花を

かえて、線香をたて手をあわせ、近況報告をします。孫が、もう二人ふえましたよ。帰りは、嘉麻峠をこえて、小石原経由で帰ります。このお気に入りのコースを、あと何回行き来できるやら…。

私の母は、三人の娘達(私はまん中)に、つねつね「女も、ちゃんと仕事をもつて働くこと。」と言ってました。おかげで、私の人生の33年間を、教員として過ごせました。生徒達と、泣いたり笑ったりした日々は、大切な思い出であり、出会いの場でもありました。

そして、少し早目の退職後、孫育てにがんばり、最近では、地域の子ども達を見守るボランティアで、たくさん元気をもらっています。先日、同級生の大里盛人さんの企画で、嘉麻市の主任児童委員のみなさんが、私達の「子育てサロン」を見学にみえました。その時の出会いが、かなりのハプニングでした。お迎えに行くと、からっぽのバスをみた時は、あせんとしましたが、ご一行は、無事に、私より先に会場に到着されていました。(笑)久々の筑豊のなまりが、とっても新鮮でなつかしかったです。

私の今の最大の楽しみは、三瀬峠をこえて福岡にいる三人の孫に会いに行くことです。急カーブの曲りくねった坂道も、長いトンネルも何のその。孫達の笑顔を思い、わくわくします。「パーパー」業全開です。

編集後記



p3で紹介している「かまひきこもり相談支援センター」で4月から相談員をしています。センターには、話すのが苦手な方からメールで相談が寄せられることもあります。どんなことでも構いませんので気軽に連絡ください。
 (きはら)



稲築東小学校6年生の山野炭鉱ガス爆発事故慰霊碑の清掃活動取材しました。みなさんは、暑い中一生懸命取り組まれていて、続けることの大切さを教わりました。また、改めてずっと伝えていかなければならないことだと感じました。
 (みぞくち)



地域の行事でヴァインセントさんと知り合い、旧千手小学校での取り組みを取材しました。活動を通じてたくさんの方が生まれていることに驚きました。
 (たけがわ)



「今月のえがお」で初めて取材をしました。見ず知らずの方に話しかけることはなかなかないのでとても緊張しましたが、快くお話を聞かせて下さって嬉しかったです。これから取材を通して沢山の方と出会いたいです。
 (ごうはら)



嘉穂特別支援学校の先生から、電動車いすを学習にとりいれたいとのお話を伺い、p4に、みなさまへのお願いの記事を載せています。心あたりがある方は、情報をお寄せください。
 (かじ)

ふるさとの福祉のために ～平成27年度の社協会員を募集します～

嘉麻市社会福祉協議会では、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくために、年間を通じて、会員を募集しています。

みなさまから納めていただく会員会費で、様々な福祉課題に対応する事業を行っていますので、遠く離れた地からふるさと嘉麻市を思いただけの方もぜひご加入いただき、福祉のまちづくりにご参加ください。

会員の種別は—

個人会員 1口1,000円 法人・団体 1口1,000円

入会の方法は—

市外の方…氏名、住所、連絡先を記入の上、現金書留もしくは郵便子為替で本会まで郵送ください。

《お問い合わせ先》 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

コラム募集

コラム交差点では、みなさんからの「声」を募集しています。テーマは特にありませんので、日常の中で感じておられること等をお聞かせください。

★原稿について

- ・字数は800字以内です。・タイトルの有無は問いません。
- ・氏名を必ず記載してください。(掲載する際は匿名にすることもできます)

★応募方法

- ・氏名、住所、連絡先を明記の上、E-MAIL、郵送、FAXのいずれかの方法でご投稿ください。

E-MAIL tiiki@kama.syakyo.com

郵送先 嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会

FAX 0948-83-8005

コラムについて、分からないこと等があればお気軽にお問い合わせください。

《お問い合わせ先》 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751